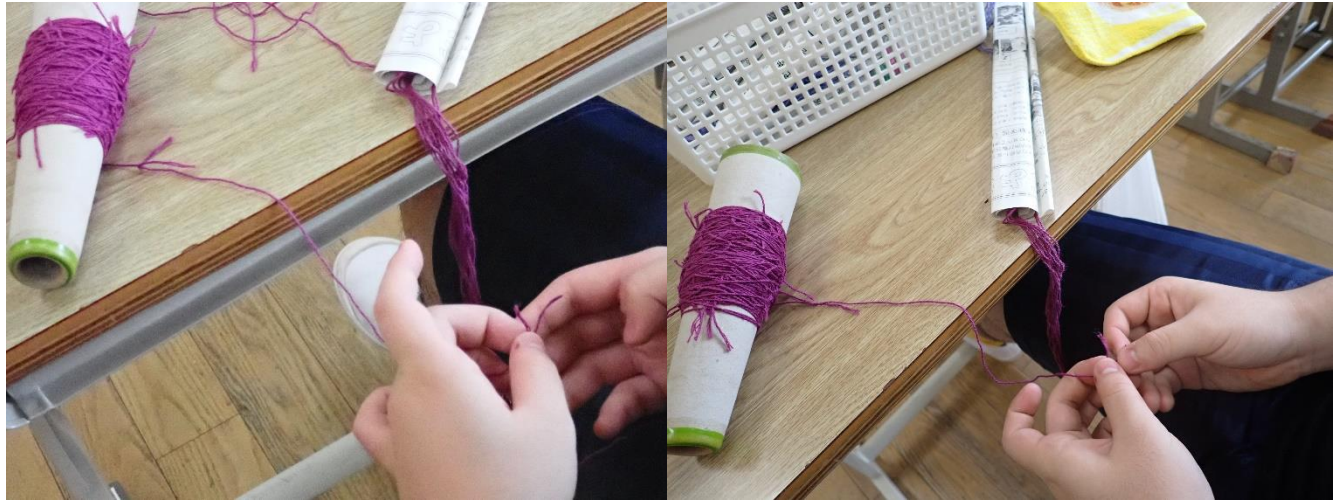


～心理的な安定～

学習実践内容報告書

| | |
|-----|----------------------------|
| 教材名 | 糸の再生 |
| ねらい | 手指動作に集中させることで衝動的な行動を少なくさせる |



問題行動について

衝動性が強い生徒のため、掃除用具入れの扉はがし・消火器ボックスへの突進・墨汁や糊やボンドをまくなどの行為が頻繁に起こった。学習用機の化粧板一枚を紙のように剥いでしまったこともある。

担任が一番困っていたのは教室からの飛び出しである。目を離れたすきに廊下へ駆け出し、昨年度まで使用していた中学部(別棟)の教室まで走る。または廊下の消火器ボックスへと走る。

対処

教室の環境を整えた。①衝立と壁を利用して「個人ブース」のようなものを作って視覚的な情報が入ってくることを制限した。②体重が平均を大きく超えていたため、登校時すぐに足踏み歩行器と腹筋を行うことで、体力の維持と健康増進に努めた。③手先が器用なため、この報告書に取り上げた余りの糸を結んでつなぎ、ボビンに巻き取る作業を授業と授業の間の時間に行った。糸は職業(縫工班)のさをり織りのものを利用した。

結果

本人がこの活動を非常に好み、すぐにおぼえて取り組むことができた。短い時間でもすぐに止められる活動であることもメリットである。本人が教室から飛び出すことが非常に減ったことを見ても、心理的な安定につながっていることがわかる。ボビンに巻き取られた糸を縫工室に納めに行くたびに担当の教員に「すごい。ありがとう」と感謝されることになった。

～環境の把握～

学習実践内容報告書

| | |
|-----|--|
| 教材名 | 木製アルファベット型はめ |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none">・「目と手の協応」の力を高める。・視覚で大まかに形を弁別する。・感触で一致するかどうかの判別をする。 |

- ・木製の教材を使用することで手触りがよく、操作活動に集中できる(変形しやすい素材だと感覚遊びや触覚過敏の場合に気が散りやすい。)
- ・木製で型自体に厚さがあるので、一致した時にはまった感触が良い。
- ・はまった後にはずれにくいので、やり直し等、ASDの児童生徒にとってストレスになりにくい。
- ・同じ大きさで木製のもので、他にも数字や身近な絵のものがあるので、選択する楽しさもある。



～身体の動き～

学習実践内容報告書

| | |
|-----|---|
| 教材名 | ・ネジ締め |
| ねらい | ・手指の巧緻性 目と手の協応 ・一定時間集中する力を高める ・順序理解 |



*ねじを使った課題

*小さいサイズでつまみにくいねじを使用した。

*取り付ける順序を理解して組み立てるようにする。

*簡単にできるようになったら、木片等への取り付けに移行する。

学習実践内容報告書

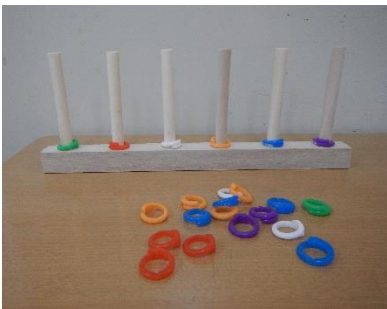
| | |
|-----|--|
| 教材名 | 色分けリング通し |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none">・色の違いを理解する。・手指の動きをコントロールする力を高める。・集中力を養う。 |

- 【教材】・チェーリング6色×15個
・ペグさしの棒(コップ立てを利用)



【手順】リングをつまみ、色分けして棒に通す。

- ①準備:1色1つずつ通す ②操作:1つずつ、色を分けて通す ③完成



【指導経過】

- ・3色分けから始め、1色ずつ増やしていき、6色の色分けができるようになった。
- ・小さなリングを扱うことで、指先でつまむ、棒に通す、間違えたらはずすという操作がスムーズになり、操作性が上達した。
- ・リングの量を徐々に増やし、集中して取り組む時間を延ばすことができた。
- ・はじめは途中で集中力が途切れて、教員に話しかけることが度々あった。繰り返し取り組むことで、棒通しに慣れ、どんどん一人でできるようになった。途中で教員に話しかけることが減り、最後まで集中して取り組むようになった。
- ・課題に根気よく取り組むようになった。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|-------------------------------|
| 教材名 | 3色のふわふわ 袋詰め |
| ねらい | ・3つの色のマッチング ・集中して、一定時間取り組む |

【教材】

- ・ふわふわのボール
6色×8こ
- ・透明の袋
色の指示付き
- ・かご



【手順】

- ・袋の指示(丸シール)を見て、ふわふわボールを袋に入れる。
- ・この課題以前に取り組んでいた2つまでの袋詰めに、間違えることなく取り組むことができていたので3つにステップアップした。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|------------------|
| 教材名 | 動物カード&クリップ |
| ねらい | マッチング 手指操作の向上 |



- カードと同じ絵のクリップをカードに付ける。
- ケースに入れる。
- 最初は、少ない枚数から(1~2枚)始める。
- 段階によって、枚数を増やす。
- 複数のカードを提示して、1個のクリップを渡す等、展開は生徒の実態によって工夫して行う。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|--|
| 教材名 | 7色マッチング |
| ねらい | ・色のマッチング ・手指操作 目と手の協応 ・集中して取り組む時間をつくる。 |

実践方法例・写真



☆色の識別ができ、きれいに並べることが好き。

→ 入れる色を示すカードを、底面でなく側面に貼った。

→ よく確認してから入れるようになり、集中して取り組む時間が増えた。

・スポンジ特有のザラザラした感触にも慣れてきた。

→ 今後は、色と形や数の学習に発展させたい。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|---------|
| 教材名 | プットイン |
| ねらい | 手指操作の向上 |

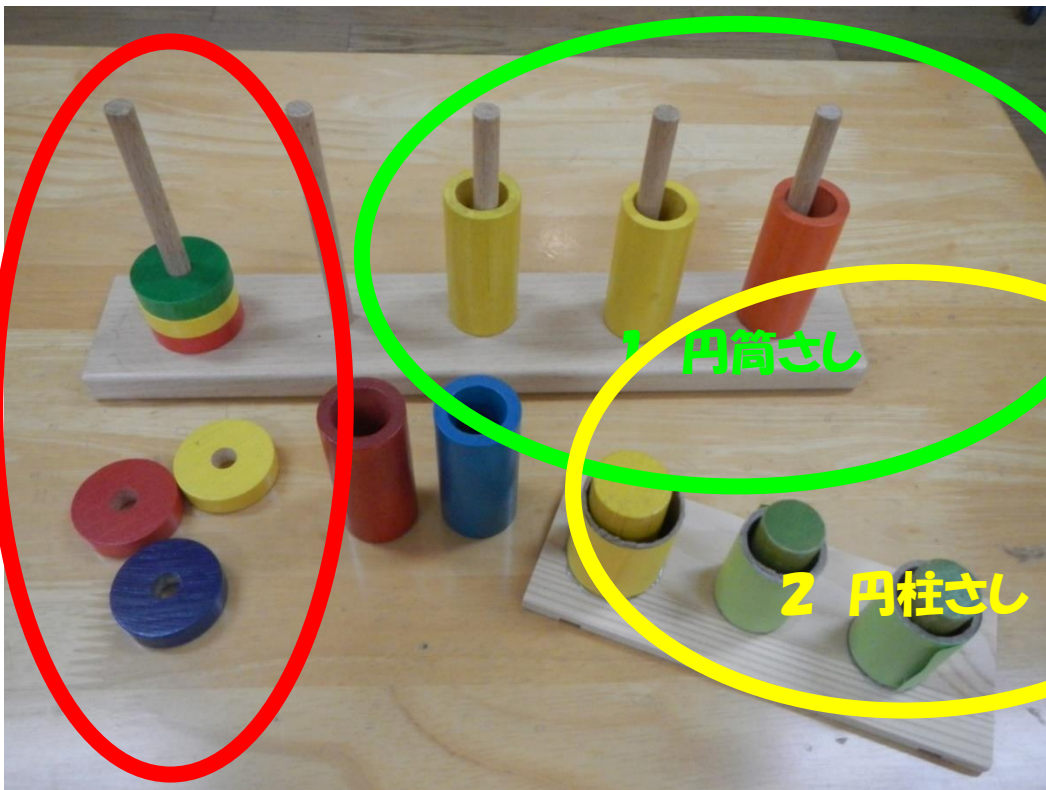


- ・見通しが持ちやすく、集中して取り組むことができる。
- ・様々な長さのホースがあり、箱を振ってみたり、ホースを回して入れたり工夫がみられる。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|---|
| 教材名 | 1 円筒さし(棒に円筒をさす) 2 円柱さし(円筒に円柱をさす) |
| ねらい | ○手指の操作(棒または円筒にさすことができる)・・・1と2 ○1対1対応(1本の棒に1つの円筒をさす)・・・1 ○太い細い(太さの違いに気づき、円柱に合う円筒にさすことができる)・・・2 |

実践方法例・写真



**↑棒の太さとリングの穴の大きさがぴったりの
リングさしが、難しい児童向けの教材**

〈対象児童〉

- ・細かい手指の操作が難しい。親指と他の指との分化が未熟。
- ・同じ絵同士のマッチングはできる。

〈教材の使い方〉

1 円筒さし

○棒から円筒を抜く、棒に円筒をさす、1対1対応 等

利点・棒の太さに比べ円筒の穴が大きく抜き差しが操作しやすい。

- ・円筒が長いので、指先だけではなく、手のひら全体で握って操作しやすい。

2 円柱さし

○円筒から円柱を抜く、太さの合う円筒に円柱をさす、色のマッチング 等

利点・円柱の太さに比べ円筒の穴が大きいので、操作しやすい。

- ・円筒の数が少ないので、試行錯誤しながら円柱の太さに合う円筒の穴を探しやすい。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|--|
| 教材名 | 箸のトレーニング |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none">•手指の操作性を高める。•箸の使い方を練習する |

・紙皿やトレーなどを別に用意し、(ケースの上蓋を代用しても可) 箸をつかって寿司を皿に1ずつ移動させて練習する。 写真の補助具付きのほか、ばね箸、エジソン箸、割り箸など、実態に合わせて選択してください。 寿司は、市販の消しゴムやミニチュアの玩具です。



学習実践内容報告書

| | |
|-----|---|
| 教材名 | 2種類の醤油さしの組み立て |
| ねらい | ・手指の巧緻性の向上 ・醤油さしの蓋の弁別 ・作業的活動を右から左への順で取り組む |

○醤油さしの蓋のと本体の大きさを弁別して組み立てを行う。

- ・活動内容が単純なため児童一人で取り組むことができる。
- ・醤油さしと蓋を組み立てた写真があることで活動内容に見通しをもちやすい。

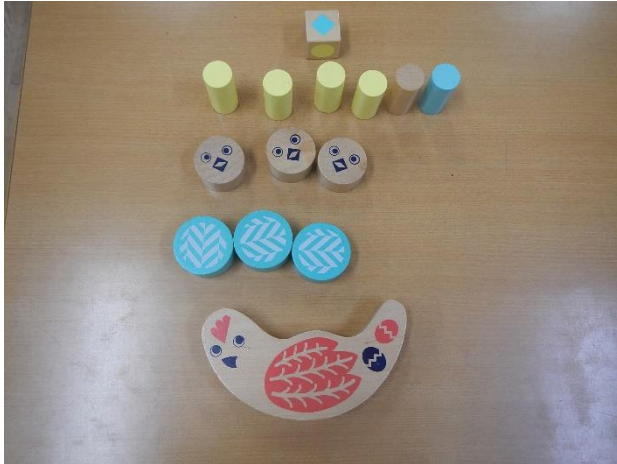


<児童の実態>

- ・はじめは大きさの異なった醤油さしの蓋を無理やりはめようとしていたが、適切な大きさのものはめることができるようになってきた。
- ・今後は醤油さしの蓋を写真真ん中の2つの容器に入れず、1つの容器のまとめて入れ、児童が自分で本体に合う蓋を選ぶようにすることで難易度を上げる。

学習実践内容報告書

| | |
|-----|---|
| 教材名 | ゆらゆらバランスつみき＋手順表 |
| ねらい | 市販の教材に手順表を組み合わせることで、少ない支援で自立して手指操作できるようにする。 |



↑ ゆらゆらバランスつみき の中身 組み合わせが何通りもある。

例1)



例2)

